

市民ホール管理運営計画「運営」 想定される検討課題

1 運営システム

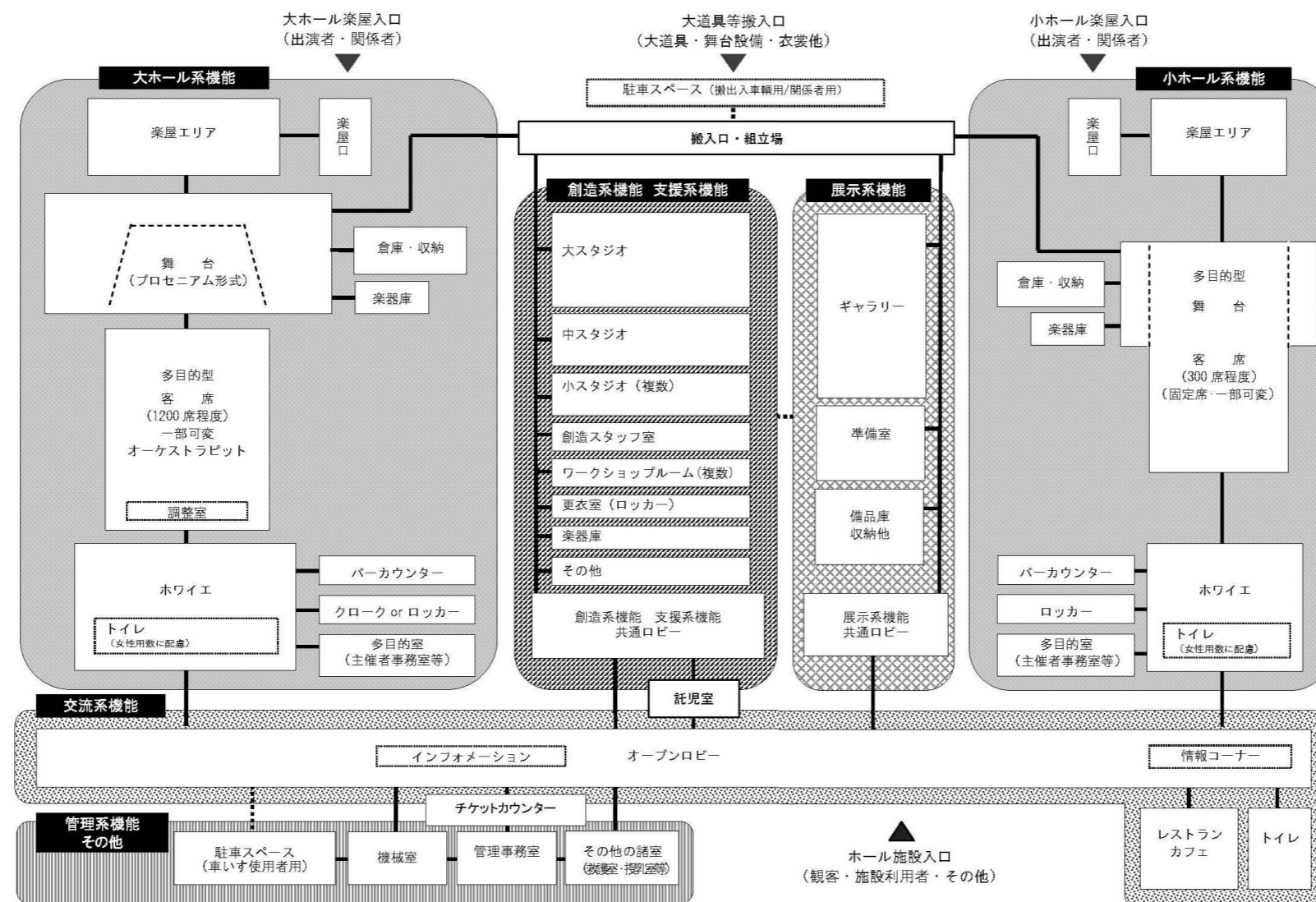
- ・開館時間・休館日の設定（利用ニーズ、維持管理業務や職員の勤務体制とのバランス）
- ・利用申請方法（公共施設予約システムの導入）
- ・利用申請時期
- ・利用日数（利用ニーズ、室の利用特性への対応）
- ・利用区分の設定
- ・利用許可方法（抽選方法、利用許可条件など）
- ・先行予約の考え方
- ・使用料金設定の考え方（室、備品）
- ・使用料金減免の考え方
- ・利用者への、施設利用に関する助言・指導のあり方
- ・レセプションистの配置やクロークサービスなど、サービス水準の設定 など

2 組織・体制の方向性

- ・必要な専門性と人数
- ・事業における専門家の位置づけ
- ・勤務体制
- ・雇用形態
- ・外部委託業務の可能性
- ・芸術文化活動の展開に求められる柔軟性（利用規則などの弾力的な運用）
- ・事業の継続性を担保する持続可能性の確保
- ・地域へのノウハウの蓄積
- ・市民協働のあり方
- ・企業メセナの活用や公的組織からの助成金・補助金の獲得などによる自主採算性の向上をめざした職能の配置
- ・現在から開館準備期間を経た、開館までにおける段階的な組織体制の構築 など

※「市民ホール基本計画」を基に再構成

【施設構成イメージ】



— 各機能で関連性が高いことを示す（動線が必要）  
 ..... 各機能で関連性があることを示す

※「市民ホール基本計画」より